

異端の少女 ジャンヌ・ダルク
(令和4年度愛媛県新人大会創作ダンス 第4位)



発行所
道前会

愛媛県西条市明屋敷 234
愛媛県立西条高校内
電話・FAX 0897-53-2192
saijodozen@yahoo.co.jp

私が出会った西条高校の ダンスサーたち

ダンス部顧問 成松 奈美

「創作ダンスなんかしたくない。自分の好きなジャンルを踊りたい。」——これは私が3年前に西条高校に赴任し、部活動指導を始めたとき、生徒から最初に言われた言葉です。昨年度、西条高校ダンス部は、愛媛県総合体育大会創作ダンスにて第2位に選ばれたことができました。しかし、実は、3年前の彼女たちは、創作ダンスに所属してはなかつたのです。私は、彼女たちの葛藤や変化を顧問として見守ってきましたが、彼女たち自身は自分たちがどのように変化したと感じているのか知りたくなりました。そしてこの道前会報を執筆する機会をいただき、私、ダンス部顧問成松と昨年度卒業生の元キャプテンAさん(以下、卒A)、副キャプテンBさん(以下、卒B)の3名で対談する機会を設けました。今回は、その一部をお届けいたします。

●創作ダンスで勝ちたいと思うようになったきっかけ

成松 「1年生のとき創作ダンスは嫌いだっけ？」

卒B 「めっちゃ嫌いだっけ！ どうせ自分たちがやっても、勝てるわけがなく、それだったら自分たちが好きな踊りをしたほうが良いと思っていました。」

卒A 「でも初めての地区大会で1位になって、私たちでもできるんだと思えました。」

卒B 「新人戦県大会でも4位になって、これはもう上を目指してやるしかない！と思いました。」

●勝りたいという気持ちが芽生えたが、成松 「じゃあ創作することによって、自分たちはどう変わっていったと思う？」

卒B 「2年生になり、先輩が引退した後、

自分たちの創作力の無さをとても感じました。」

卒A 「2年生の新人戦作品創りが一番きつかったです。何も振りが出てきませんでした。」

成松 「その時の光景はよく覚えているよ。座り込んで、泣きながらじーっと私のほうを見て、助けを求めていたね。」

卒A 「まさに迷走していました。部活動の進め方も何をやって何を伝えたいのかも分からなかったです。」

成松 「その時期のみんなは、できない自分や完璧ではない作品を見せたくないように見えただね。私自身も、このチームはこれ以上強くなれないのかもしれないと思ってしまった。」

●練習の量を減らし、質を高めた結果

成松 「いつ頃からその迷走から抜け出せたの？」

卒A 「3年生になった頃からです。作品を通して何を伝えたいか何度も話し合ったこと、練習の在り方を相談したことで抜け出せたと思います。」

成松 「練習量を減らしたいって言うてきたよね。みんな部活が終わる時間と部活オフの日数にとっても厳しかったね。」

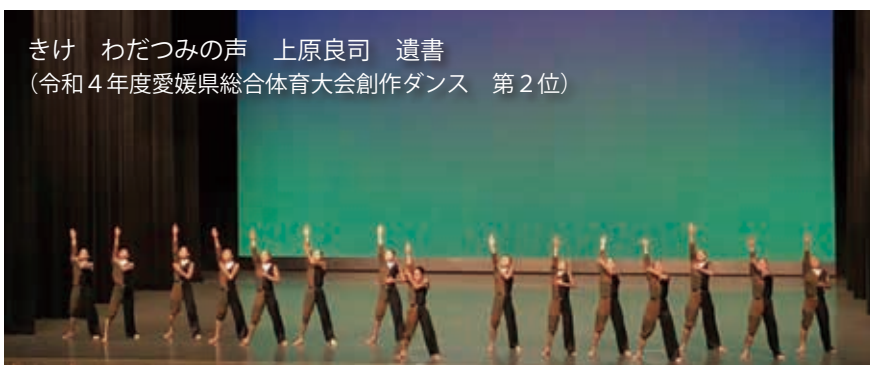
卒B 「みんな部活だけが一番大事ではなくて。だから、量は減らすけど、その分無駄のないように、毎日の練習ごとにやるべきタスクを考えました。」

卒A 「練習量は減らしたけど、それに対する練習に対する集中力と作品に対する気持ちが高まったと思います。結果として県総体で2位に入賞できたときは大きな達成感を感じました。先生はなぜ私たちが結果を残せたと思いますか？」

成松 「みんながライバル同士ではなくなったからかな。それまでは、自分が目立ちたいという気持ちが先行していたけれど、最後の作品では、作品を良くするために誰がどの位置を踊ることが最適かという考えになったことが結果につながったんじゃないかな。」

これまでに、私は自由奔放な39人のダンスサーたちの様々な姿を見ることができました。体育館ステージの鏡の前で、必死に振りを考え続ける姿、足に青あざができて夢中で技の練習をする姿、互いにアドバイスを与え合い、成長に喜び合う姿はキラキラと輝いていました。また、部活に対する自分の気持ちと葛藤する姿も見えました。どんな決断をするときも生徒たちは思いを丁寧に、そして真っ直ぐ向き合ってくれました。「創作」することを経験した生徒たちは、作品・自分・周りにいる人の「想い」を大切にすることができると思っています。日々、「美の追求」を合言葉に頑張るダンスサーたちの姿は私の誇りです。

きけ わだつみの声 上原良司 遺書
(令和4年度愛媛県総合体育大会創作ダンス 第2位)





パンデミックは3年、とどこかで聞いたことがあります。コロナパンデミックも3年を闊してようやく終息の兆しが見えてまいりました。この間、会員の皆様には如何お過ごしでしたでしょうか。或は罹患された方も少なからずいらつしやつたのではないのでしょうか。罹患されないまでも、マスク着用やテレワーク、オンライン授業などですつかり生活に変調を来たし、殆どの方が何らかの形で精神的、経済的ダメージを被られたのではないかと心配を申し上げる次第です。

この間、道前会の活動はほぼ休眠状態が続いておりまして、各地区の総会も昨年の東京道前会を唯一の例外として開催は見送られ、本部定期総会も延期のやむなきに至りました。道前塾も辛うじて愛媛大学の高橋敏明ドクターにご出講賜ることができたのみでした。さて、スケジュールに追われている時は余り考えることもありませんでしたが、今回、この長いブランクに少しばかり思考を巡らせてみました。同窓会とは一体何だろうか。

我が道前会は、会則において「会員相互の親睦」と「母校の発展への寄与」と謳っておりますが、「母校に対し卒業生の総意を示す団体」と定義されることもあるようです。これらはしかし、同窓会が組織されたあとの機能を言っているものであり、組織が成り立つためには精神的、内面的な何かが必要だろ

うと思います。餅に例えれば「あんこ」の部分です。

そこで思い当たったのは「ノスタルジー」です。人間は懐しさを感じる動物なのだそうですが、昔を懐かしく思う気持と故郷を懐かしく思う気持、懐旧と郷愁、これが同窓会にとって「あんこ」なのではないかと。

無垢で、健康で、怖いもの知らずであつたあの時代が文句なしに懐かしい、異郷にあつて金木犀の香りを感じ、ふるさとの祭に近いことに気付いたときの望郷の念は同郷者じゃないと解らない、こうした気分、感情を共有できる共感共同体というところに同窓会のエッセンスがあるのではないのでしょうか。

それはさておき、母校の近況ですが、この程スーパーサイエンスハイスクール(SHS)に再指定されました。年間一千万円内外の特別枠の予算が配分されますから、先生方の負担は大変ですが、その教育効果は目を見張るものがあります。本紙で紹介されている進学実績にも現れているとおり抜群の効果があらうようです。何よりもこのプログラムによって享受できる教育体験で生徒達の人生がプラスの方向に変わっているように見受けられます。そこで、この事業に関し、会員の皆様のところへ協力要請がありましたら、是非宜しくお願いしたいと思います。

終りに、皆様には引き続き道前会の活動へのご理解とご支援を申し上げますとともに健康にご留意され健やかに過ごしていただきますことをお祈り申し上げます。



全国の道前会会員の皆様におかれましては、益々御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、平素から母校の教育活動に格別の御理解と御支援・御協力を賜っておりますこと、衷心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度の始まりに当たり、御報告させていただきたいことがあります。

本校は、令和5年度、文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール(SHS)第II期」に指定されました。本校はこれまでI期5年間のSHSにおいて、様々な成果を収めました。また、その成果を進路実現に結び付け、学校が激変しているところがございます。

SHS以前は、コンクールやコンテストへの出品などほとんどなかったようですが、今年年間200件以上の出品がなされ、中には、全国大会上位入賞や日本一に輝くもの、海外の大会に出場するものまで出ています。

学力も向上しています。今年の卒業生は英語のGTECの伸びが西日本一だったそうです。

これらの成果を生かして、SHS3年目、最初の卒業生が出た年には、国公立大学合格者数がそれまで80名台から一気に、前年度の約15倍の127名に増加しました。昨年度は、国公立大学合格者数100名台を維持しつつ、16年ぶりに京都大学現役合格者が出ました。今年度は、国公立大学は昨年度を更に

上回る111名合格を果たし、この地域のブロック大と呼ばれる広島大学、岡山大学はそれぞれ8名ずつ合格を果たしました。これは昨年度の8倍に相当します。それ以上の難関大学合格者数も2名増。特に、超難関大学の京都大学1名合格、大阪大学2名合格は、本校が現在の1学年7学級制になつてからの新記録です。更に、商業科の「輝安KOU房」という研究グループのメンバーはその実績を生かして、国公立大学に4名合格しました。これは商業科の歴史を塗り替えたと言われています。今、本校は、数年前と比べると、まるで別の学校と見間違うほどのV字回復を遂げています。

また、これらの成果を市内の中学校に知つていただく取組に力を入れると同時に、東予地域トップレベルの授業を提供することを伝え、志の高い生徒を募つたところ、最終の入試倍率が県立では平均0.89倍と低迷する中、本校国際文理科は最終倍率が1.8倍と県内の進学校の中で最も高くなり、商業科は1.0倍、普通科は0.94倍とほぼ定員を維持しました。その結果、令和5年度入学生は、定員を大きく割ることなく、近年、市外に流失していた成績上位層の生徒が多数入学してくれました。今後さらに、学業や進学面でも大きな成果を出すべく最善を尽くしてまいります。

今回の第II期SHS申請が認められましたのも、講師派遣やボランティア的な講演会の開催など様々な面からいただいた道前会の皆様方の御支援の賜物であると深く感謝申し上げます。今後とも引き続き、皆様方の温かい御支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方の御多幸をお祈りいたしますとともに、道前会の益々の御発展をお祈り申し上げます、御挨拶といたします。

西条商工会議所

会頭 星 加 隆 夫 (74回)

本 所 愛媛県西条市朔日市779番地8 電話 0897-56-2200 FAX 0897-56-2206
東予支所 愛媛県西条市周布220番地2 電話 0898-64-5000 FAX 0898-64-0757

令和4年度 地域・歴史研究部の研究活動について

伝統校における社会・歴史系部活動の歴史は古く、多くの研究者や地域人材を輩出する母体でもあります。しかしながら、長らく部員数が低迷し、今や「絶滅危惧種」となりつつあることが各校に共通する悩みです。西条高校の地域・歴史研究部もご多分に漏れず苦しい状況にはありますが、少数精鋭で頑張っています。

令和4年度には、戦時下の西条祭りについて研究に取り組みました。この研究は、コロナ禍で西条祭りが大きな制約を受ける中で、戦時下ではどのような制約があったのだろうかという疑問から始まりました。戦前の新聞を保管している新居浜市立図書館に何度も通い、部員全員が手分けして西条祭りに関する記事を検索しました。古い新聞は劣化が進んでおり、頁をめくる際には細心の注意を払う必要がありました。また、記事は旧字体で書かれていた上に、難解な言い回しがあつて読みにくいところもありました。しかし、戦前にも今と同じ祭りの賑わいがあったこと、戦局の悪化とともに、祭りに戦時色が濃くなつていくことを確認できました。中でも昭和18年には、戦争に動員された男性の代わりに女性が

だんじりを担いだという記事があり、大変興味深いものでした。また、戦後まもなく西条祭りが復活したことも確認できました。

次に、西条祭りの研究者で、部の先輩でもある佐藤秀



（前顧問・永井紀之）

之氏から、戦時下の西条祭りについて詳しいお話をうかがい、当時女生であった佐藤氏のお母様の日記を紹介していただきました。日記には、生徒と同世代の目から見た西条祭りの様子が描かれており、当時を身近に感じることができました。調査や取材を通して、生徒は戦争によって西条祭りが大きな制約を受けたことを確認しました。その上で、困難な状況でも祭りを楽しみ受け継いでいくという人々の強い意志を感じた、このことはコロナ禍の祭りを余儀なくされる今日の私たちを勇気づけてくれる、とまとめました。

研究の成果は、9月に校内の文化祭で全校生徒の前に発表しました。佐藤氏のお勧めもあつて、10月から西条郷土博物館の「西条の祭り」の展覧会「展示発表を約1ヶ月間行いました（写真）」。また、令和4年度の「鳥居龍藏記念 全国高校生歴史文化フォーラム（徳島県立鳥居龍藏記念博物館主催）」に「第二次世界大戦前後の西条祭りについて」をテーマとして「コロナ禍から考える」と題する論文を応募し、入賞することができました。これを機に、「毎日新聞」四国／愛媛版（令和5年2月8日付）で大きく取り上げていただき、『西条史談』第115号（近刊）にも論文を掲載していただくことになりました。

このように、西条高校の地域・歴史研究部が多岐の方々に注目していただけることは大変ありがたいことです。これを機に部活動を活性化し、研究に励みたいと思います。

部活動状況

令和4年度の母校の活動を振り返り、一年の歩みをお知らせいたします。

令和4年度の部活動加入率は、全校生徒の九四・六％で、文武両道の下、多くの生徒が学業とともに部活動に励み、有意義な高校生活を送っています。

運動部においては、県総体に二百九名が参加しました。久しぶりの二百名越えです。ソフトテニス部男子個人がベスト八に入り、全国高等学校総合体育大会に出場しました。四国総体には前述の部以外に柔道部男子個人、弓道部女子団体・女子個人が出場しています。また、野球部が秋季県大会でベスト四、県新人大会では弓道部女子が団体・個人ともに優勝し、陸上競技部女子個人が百メートルと二百メートルが四国大会に出場しました。他、社会活動部のスポーツクライミングでは八月にアメリカ・ダラスで開催された世界選手権に出場しています。

文化部では、全国高等学校総合文化祭（東京大会）に合唱部、美術・マルチアート部、科学部（地学）と社会活動部（詩吟）が出場し、科学部（地学）が二年連続で優秀賞を受賞しました。県高文祭には百二十七名の生徒が参加し、日本音楽部、美術・マルチアート部と科学部（化学）が来年度の全国総文祭（鹿児島大会）に出場を決めています。ほかに二月には美術・マルチアート部が明るい選

挙啓発ポスターと読書感想画中央コンクールで全国審査会へ出場し、三月には合唱部がアンサンブルコンテストで全国大会に出場して銅賞を受賞しました。そして科学部（化学）が台湾国際サイエンスフェアTISF2023に出場し、今年には体育部・文化部ともに世界規模での活躍が見られました。

令和4年度も全国大会に出場するに当たり、道前会よりその都度ご芳志を賜りました。誠にありがとうございました。なお、道前会にも協賛していただいておりますが、例年同様八月十三日に西条市総合文化会館において、ダンス部、日本音楽部がステージ発表を行いました。残念ながら関係者のみの入場ではありましたが、感動のうちに二十六回目を終えることができました。次回令和五年度も八月十三日（日）に実施する予定です。部員たちは、この発表会を励みに練習に打ち込んでいます。状況が改善され、ご来場いただけるようになり、励ましをぜひご覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

これからも、校訓の文武両道の精神の下、部活動や勉学に励む、心身共に成長した生徒を育てたいと思います。道前会の皆様におかれましては、今後とも温かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

全国大会出場者

- 〔体育関係〕
 - ◎全国高等学校総合体育大会
 - ・ソフトテニス部男子個人

〔文化関係〕

- ◎全国高等学校総合文化祭
- ・合唱部
- ・科学部（地学） 自然科学部門
- ・社会活動部（吟詠剣詩舞） 合同の部
- ◎明るい選挙啓発ポスター
- ◎読書感想画中央コンクール
- ・美術・マルチアート部
- ◎音楽アンサンブルコンテスト
- ・合唱部

世界大会出場者

- 〔体育関係〕
 - ◎IFSCクライミング選手権
 - ダラス（アメリカ）2022
 - ・社会活動部
 - （スポーツクライミング）

〔文化関係〕

- ◎台湾国際サイエンスフェア
- TISF2023
- ・科学部（化学）



進路状況

令和 4 年度 (R5.3) 卒業生

令和 4 年度 (R5.3) 卒業生 合格者数 (延数)

Table with columns for year, category, gender, university type, and counts. Includes rows for '令和4年度卒業生' and '既卒生'.

令和 4 年度 (R5.3) 卒業生 進路状況 (進学者)

Table with columns for year, category, gender, university type, and counts. Includes rows for '令和4年度卒業生' and '既卒生'.

先日入学式が挙行され、令和五年度がスタートしました。スーパースカイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けて六年度を迎え、全校生徒が課題研究に取り組んでいます。地域を誇りに思い、地域に貢献でき、世界で活躍できる総合力を身に付けた「多次元マルチリーダー」の育成に、全教職員一丸となって取り組んでいます。

さて、今春卒業した生徒の進路状況を振り返ります。国公立大学合格者の延べ数は百十一名(既卒者二名含む)で、三年続けて百名以上の合格者を出すことができました。これもスーパースカイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けてからの五年間の課題研究などを通しての思考力・判断力・表現力を高める取り組みが実を結んだ結果であり、三年学年団が中心となり、全教職員が受験指導に当たること得られた成果だと考えております。内容においては難関と呼ばれる京都大学に一名、北海道大学に一名、大阪大学に二名、神戸大学に三名が合格しました。また、岡山大学に八名、広島大学に八名、愛媛大学に十八名(医学部医学科一名含む)が合格しています。国公立大学合格者数のうち総合型選抜・学校推薦型選抜で合格した生徒が六十三名(共通テスト利用なし四十二名、共通テスト利用あり二十一)で、合格者全体の五十七パーセントを占めています。私立大学においては、早稲田大学(二名)、中央大

学(一名)、同志社大学(三名)、立命館大学(十一名)、関西大学(四名)、関西学院大学(四名)、松山大学(六十八名)など、合計三百六十三名(延べ数)が合格しました。商業科においては、国公立大学に四名、私立大学に十三名、私立短期大学に二名、専門学校に十一名、合計三十名が進学しました。就職では、全体で十名が就職し、民間は、製造職三名、事務職三名、サービス職一名でした。公務員は、愛媛県事務職一名、西条市消防一名、自衛隊一名でした。昨年度実施三年目となる「大学入学共通テスト」が行われました。生物が一昨年度に続いて大幅に難化して平均点が四十点を割り込み、六十点を超えた物理との差が二十点以上となったため、共通テスト導入以来二回目となる得点調整が実施されました。数学Ⅰ・ⅡBの平均点が大幅に下がり、選択者が多い日本史B、化学の平均点が十点以上下がった前年度に比べると九百点集計で文系約二十六点、理系約三十七点のプラスとなりましたが、たとえば英語(リーディング)は過去二十年で最も低い平均点となるなど、全体的には緩やかに難化している印象があります。出題傾向や難易度がおおむね明らかになり、今後は新傾向の問題にしっかりと対策するかどうかで得点に差がつくことになると思われます。本試験での志願者数は五十一万二千五百八十一人となり前年から約一万八千人減少し、受験者数は四十七万四千五十一人で受験率九十二・五パーセントでした。国公立大学志願者数は四十二万三千八百十人で、募集人員に対する志願倍率は前年同様四・三倍でした。私立大学については、近年は年内入試で進学先を決める生徒が増え、一般選抜による大学入学者は四割程度に減りました。入学者が定員を超過した私立大の補助金が減額される「定員管理の厳格化」の影響で、一般選抜は一時高倍率になりましたが、受験者総数を合格者総数で除いた実質倍率は十九年の四倍をピークに年々下がっています。今春からは「定員厳格化」も緩和(基準が全学年の総定員に変更)されました。「早慶上理」・「MARCHE」・「関関同立」の十三私立大全体の志願者数は対前年指数百と前年並でした。入試方式別の志願者数をみると、一般方式は対前年指数九十八、共通テスト利用方式は対前年指数百六となっており、共通テスト利用方式の志願者数の増加がめだちました。今年度も充実したICT環境のもと「主体的・対話的な深い学び」スタイルの授業を積極的に実践し、確かな基礎学力を身に付け、特色ある取り組みを通して深い思考力を身に付けた人材の育成に努め、進路実現が円滑に進む環境を作りたいと考えています。今後とも母校の進路指導にご理解をいただき、先輩達への温かいご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和五年度 進路課長 樋田 修一



2022(令和4)年度一般会計決算報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 円)

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 手数料, 広告料, 雑収入, 合計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出額, 増 減, 摘 要. Rows include 総務費, 需用費, 通信費, 旅費, 人件費, 事業費, 会議費, 総会費, 予備費, 合計.

収支差引額 収入額 9,461,311 - 支出額 6,638,611 = 繰越額 2,822,700

2022(令和4)年度積立金会計決算報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位 円)

前期繰越額 6,000,000 (任意積立金)
当期積立額 1,000,000 (任意積立金)
当期取崩額 0
次期繰越額 7,000,000

2022(令和4)年度全国大会出場祝基金会計決算報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

前期繰越額 1,864,160
当期積立額 0
当期取崩額 440 残高証明
受取利息 16
次期繰越額 1,863,736

2022(令和4)年度末財産目録

令和5年3月31日 (単位 円)

預 金
東予信用金庫普通預金 6,156,632
愛媛銀行普通預金 1,863,736
㈱ゆうちょ銀行振替口座 3,664,884
伊予銀行普通預金 1,184

資産合計 11,686,436 内
任意積立金 7,000,000
全国大会出場基金 1,863,736
一般会計繰越金 2,822,700

2023(令和5)年度一般会計収支予算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位 円)

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 手数料, 広告料, 雑収入, 合計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 総務費, 需用費, 通信費, 旅費, 人件費, 事業費, 会議費, 総会費, 予備費, 合計.

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。

令和5年4月〃日

Accounting audit signatures: 秦 敏明, 阿 蘇 道 子, 徳 増 竜 任.

令和5年度 事業計画書

- ◎ 会報の発行 (第31号は2023年6月1日発行予定)
◎ 道前塾・移動道前塾の開催 (開催日時・講師は未定)
◎ 支部活動への助成
◎ 同期会開催等への支援・協力 (資料作成・卒業50年目の卒業式への案内等)
◎ 卒業生へ記念品の贈呈 (卒業証書ファイル・道前賞)
◎ 新入生へ絵葉書の贈呈 (我が母校)
◎ 生徒の全国大会出場へのお祝い (高体連・高野連・高文連・全日本合唱連盟主催)
◎ 文化祭における在校生への啓発活動 (道前会コーナーの開設)
◎ 文化部発表会の助成

令和4年度 年間行事

令和4年4月～令和5年3月

令和4年

- 4月5日(火) 令和3年度会計監査
4月8日(金) 令和4年度入学式
4月14日(木) 理事会
5月19日(木) 理事会
6月23日(木) 理事会
12月15日(木) 理事会・第1回会報委員会

令和5年

- 1月18日(水) 第2回会報委員会
2月16日(木) 理事会・第3回会報委員会
2月28日(火) 卒業式予行・道前会入会式
3月1日(水) 令和4年度卒業式(第123回)
3月16日(木) 理事会・第4回会報委員会

定時制より



「運動会」終了後 体育館ステージで



総合体育大会 陸上競技

今年、定時制は七五年目、開校以来一、七七九名の卒業生を輩出してきました。今年度の生徒数は三二一名です。

現在、定時制には、小中学校時に不登校を経験した者や他校を中途退学してきた者などが多く在籍し、以前の「働きながら学ぶ者の学び舎」としての役割は小さくなっています。生徒の多様化は進み、外国籍の生徒もいます。

三年前、本校に着任して以来、関係諸機関や地域の方々に大きな支援をいただいていることを実感してまいりました。運動会には支援教室や中学校の先生方にも大勢参加いただきました。生徒たちの成長をずっと見守り続けてくださることに本当に感謝しております。

現在、定時制に在籍する生徒たちは、学び直しをして自己を成長させたいという意欲を持つ者ばかりです。真面目にこつこつと学習を積み上げることの大切さを理解しており、英検二級や漢検二級にも合格する



卓球部女子、陸上部男子 全国大会出場



ようになりました。

学校行事や生徒会活動にも熱心に取り組んでいます。昨年度六月の全国定通制体育大会県予選では卓球部女子が優勝をし、全国大会に出場しました。個人でも卓球部女子二名と陸上競技部男子一名が予選を突破して全国大会出場を果たしました。九月の愛媛県総合体育大会では生徒全員が競技に



生徒生活体験発表大会 県大会最優秀賞受賞

参加し、陸上競技女子は総合五連覇、卓球男子団体も準優勝という結果を収めました。

また、十月末の愛媛県定通制生徒生活体験発表大会に三年生男子が出場し、本校での学校生活を通して感じ、考え、学んだことを発表しました。そこで最優秀賞をいただき、十一月に東京で開催された全国大会に出場して落ち着きのある堂々とした発表をしました。

定時制は少人数であることをメリットととらえ、アットホームな雰囲気の中、日々、学習活動や特別活動に仲間と協力しながら取り組んでいます。皆、個々の抱える問題やつらい経験を乗り越えて、自分自身の将来のために成長していこうと頑張っています。

今後とも、もう一つの西条高校である定時制の生徒の活動にも注目いただき、温かい御支援・御協力をよろしく願っています。

令和五年四月



支部会だより

東京道前会

幹事長 福本信彦 (74回)

令和四年度の総会は、三年ぶりに七月九日(土) 十一時より日本青年館において百五名出席のもと開催されました。

母校からは丸尾秀樹校長先生、本部からは安永道子副会長、東海道前会からは妻鳥幹事長のご出席をいただきました。

総会は、東京道前会伊藤会長の開会の挨拶に始まり、来賓として丸尾校長先生と安永道前副会長にご挨拶をいただきました。続いて曾我副幹事長から収支決算・活動報告・事業計画・予算案などの上程や、得永監事から監査報告があり、賛成多数で承認されました。さらに新任役員の紹介がありました。

懇親会は、國田公義さん(四十四回)、加藤聡さん(五十一回)と最年少の大学生百二十回の合田尚生さん、村上啓太郎さんの乾杯の音頭で賑やかに始まりました。

今回のアトラクションはベリータダンスのダンサーとして、数々のステージでパフォーマンスをしている松本あゆみさん(百十回)にお願いしました。オリエンタルな音楽に合わせて踊る松本さんの女性的な動きに圧倒され、今までにない時間を過ごしました。後半は恒例のお楽しみ抽選会が行われ、吉

識日菜実さん(百十五回)の進行により、あちこちで歓声が沸く中、次々と豪華賞品が当選者に手渡されました。

最後は校歌斉唱に始まり、秋山重樹さん(八十七回)と中野虎太郎さん(百十八回)の応援団コンビによるリードのもと、応援歌を元氣よく歌った。会は最高潮に達しました。

締めくくりとして山本正博副会長の閉会の挨拶があり、来年の再開を期して、三年ぶりの楽しい総会の幕を閉じました。総会の後片付けを終えた後には、有志参加による二次会です。総会進行中はなかなかゆっくり話せませんので、皆で色々なことを振り返りながらにぎやかな時間を過ごしました。

その他の活動としては、十月二十五日に年一回のゴルフ会を二十人の参加で開催し、熱戦を繰り広げました。一月には新年会を日比谷パレスで



開催し、三十四名が参加しました。このように東京道前会はコロナ禍の制限のなか、活発に活動しています。

東海道前会

会長 森山桂一 (60回)

令和4年度はコロナ禍のため総会も親睦ゴルフ大会も開催できませんでした。

しかし役員人事の面では大きな動きがありました。東海支部は会員の高齢化という問題もさることながら役員の高齢化が極度にすすんでおりましたが山路正雄会長(50回)が高齢のため退任されることになりました。また永年にわたり会を支えてこられた長野達夫副会長も(58回)も相談役となつて第一線から退かれることになりました。

若い世代へバトンタッチすることが緊急の課題ですがそれまでのつなぎ役として私が当面暫時会長役を務めさせてもらうことになりました。幸い前東京道前会会長の山内重徳氏(67回)が名古屋在住となり、協力してくれることになりました。山内氏の協力を得ながら会の活性化に取り組んでいきたいと考えております。

会長と言えば通常功なり名を上げた成功者、指導的な職業をされ世事に長けた人物がなるのが一般的だと思います。現に山路会長は高名な弁護士でありまた現藤田医科大学の理事長として大学の発展と地域医療に貢献された方です。しかし私は一介の化学技術開発者にすぎません。

化学を志す者の究極の夢は人類存続のための化学に寄与することです。その一つは植物が二酸化炭素と水から炭水化物を合成する光化学反応です。その反応を人為的に行うことができれば素晴らしいことですが今の人類の化学レベルではとても刃が立ちません。でもその低レベルの化学の力であつても我々人類は化学製品の恩恵にあずかつております。しかしその副作用にも苦しんでおります。それは資源問題、二酸化炭素による温暖化問題、そして廃棄物による環境問題です。それを救う一つの方法はリサイクルすることです。

私はある事件がきっかけでリサイクル技術開発に携わるようになりました。そしてポリエステルとナイロンについてそれぞれリサイクルする新技術を開発し日本で初めて自動車用資材に採用されました。現在も国の補助を得て食品包装用フィルムのリサイクル技術開発に取り組み工業化を急いでおります。

私はそのような開発の仕事を通じて地道に努力することの大切さを痛感しました。

同窓会活動も同様に故郷を愛し母校の発展を願う仲間を地道に粘り強く増やしていくことが大切だと考えております。

私の望みは後輩の生徒達に化学に興味を持ってもらい人類存続のために化学の扉を開いてくれる人材が出てくれることです。それはさておき今年度こそ5年ぶりに総会を開催し活性化のスタートにしたいと考えております。本部の方々、各支部の方々宜しくお願い致します。

西条市内を中心に活動しているコーラスグループの発表会

さいじょうコーラスフェスティバル



2023年7月9日(日)

西条市総合文化会館 大ホール

※詳細は当館のホームページで発表します

近畿道前会

会長 岩崎秀雄 (65回)

道前会会員の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

近畿道前会は結構女性上位の所がありますが、皆さん元気で頑張っておりますか。

近畿道前会では昨年は2回ほど有志が集まり①歩こう会と②焼肉を食べる会を実施しました。

歩こう会は大府吹田市にある万博公園に行きました。歩こう会に参加した人は8名でした。

①高須賀さん②日野さん③渡辺さん④塩崎さん⑤小西谷さん⑥藤本さん⑦岩崎さん⑧西条事務所の白岡さんの8名でした。6月10日の金曜日に万博公園駅に集まった参加者は、一路万博公園へ、と言っても数分の距離ですが、公園の入り口で集合写真を撮り、梅林を抜けて休憩所で公園名物の「水車」を見て楽しみました。

その後、花の丘を目指し、そこで弁



当を広げて楽しみました。みんな思いの弁当です。

さあ、次は本日のメインイベントのあじさいの森です。あじさいの森は美しいあじさいがいっぱい咲いていました。全員が素晴らしいあじさいに見られました。

その後バラ園を抜けて日本庭園に行き、アイスクリームを食べて一休みしました。

日本庭園で一休みの後は菖蒲園に行き菖蒲を見て楽しみました。菖蒲の種類がこれほど多いとは、みんなビックリしました。

菖蒲園の菖蒲を見た後、かなり疲れて万博公園を後にしました。でも女性はずっかりしていました。みんな70歳を過ぎてゐるのに、私、岩崎は驚きました。

その後何月だったか、実施日は忘れましたが、確か6名で「炙りや」という焼肉店に行きました。

「炙りや」は食べ放題の本当にいい肉を食べさせる美味しい店です。

食べる、食べる、驚くほど食べました。また行きたいという人が大勢でした。そのあとはカラオケへ。こんなことをして近畿道前会は、コロナ禍の一時を楽しんでいます。

以上近畿道前会のご報告でした。

広島道前会

幹事長 氏家 豪 (68回)

令和4年度の広島道前会総会は、コロナの終息が見込めない事から令

和2年度3年度に続いての中止となりました。この会報を通じて皆様に支部の「活動状況のご報告」が出来ない事申し訳ありません。

さて今春卒業された学生の皆様方遅くなりましたが「卒業おめでとうございます」。また新入学生おめでとうございます。卒業生はまさに3年間の在学中、コロナによる制約を受けながら、勉強や部活動などで様々な困難に立ち向かい、コロナ以前では経験出来る事のない大きな壁を乗り越え、人生の大きな財産を得られた事に、エールを捧げたいと思います。

この原稿を書いているのは3月ですが、3月13日厚労省からマスク着用の自由化が発表されました。私はまだ暫らく着用派です。世の中の皆様もまだまだ着用されている方が多いようですが、この発表とウイルスの減少もあり、色々なスポーツ観戦も入場制限が撤廃され声出し応援も可能となり、経済的効果の上昇傾向が顕著です。

そこに待JAPANのWBCの世界一の快挙。プロ野球の開幕に向けたオープン戦の熱気、選抜高校野球の盛り上がり。

サッカー・ラグビー・バスケット・ニス・ゴルフ等々の選手達もこの3年間の憂さを晴らすような気合いの入り方です。

そして：桜が開花しました。広島では外国人観光客が大幅に回復し始め、全国的にも大きく回復し始めています。まるでコロナ以前の状況に戻ったように錯覚します。現時点でのウイルスの減少はあくまでも一時

的な状況かもしれませんが、油断する事なく前を向いて進みましょう。

そしてこの時期、何よりも嬉しく思えたのはWBCでの侍JAPANの選手達のコメントに対して、またフアンの観戦後のごみ一つ残さないマナーに対して、海外のニュースでは「日本人の心」の素晴らしさが大々的に報じられています。私達にとって当たり前の事が海外から見れば「日本人は素晴らしい」と映る。その源泉は「家庭・学校・社会の教育」にあると思います。これは世界に誇れる「日本の文化」ですが、相反して弱点として顕れる場面もありますので、個人個人の考えがプラスαとして、重要・必要な時代であると感じます。学生の皆様故郷は西条にあり、舞台は世界(グローバルな時代)にあります。頑張りましょう。

5月には広島に於いてG7サミットの開催の為、広島市内周辺は現在急ピッチで要所の補修・改修、警護の訓練が続いています。会報が皆様

に届く頃は既にG7は終わってしま

すが、日本のリーダーシップが発揮される事を切に願っています。

今年度の広島道前会総会は10月恒例(案)の予定ですが、今までの会場センチューリー21広島は売却され解体の見込みです。新たな会場を何処にするかを含め検討し、確定次第ホームページにてお知らせ致します。

今年度総会は、より多くの皆様にお会い出来ます事、そして次年度には良い報告が出来る事を願っております。

西条市にゆかりのある音楽家の演奏会

入場無料

さいじょうクラシックフレッシュコンサート

2023年8月11日 金・祝 西条市総合文化会館 大ホール

※詳細は当館のホームページで発表します

岡山道前会

岡山道前会幹事 三村 聡 (78回)

四国新幹線の実現に向けて

十河信二先生が、「新幹線生みの親」であることは広く知られています。今般、全国的にJR路線の維持継続問題が顕在化しています。そして鉄道が衰退しますと高校生の通学に多大な影響がでます。こうしたなか、昨年9月27日、倉敷市の玉島市民交流センターへJR四国の西牧世博社長をお招きして、特別講演会「公共交通と玉島の未来を考える」公共交通ネットワークの四国モデルの実現を目指して「Good Challenge」を開催しました。JR四国の経営戦略の要諦と中四国を結ぶ四国新幹線の経済効果など示唆に富んだ講話に感激でした。同時に、JR四国経営の苦労話のなかに「四国4県の人々の暮らしを守り、地域社会の移動の自由を支える」との力強い覚悟を



拝聴できました。

ホスト役は玉島商工会議所の守永一彦会頭がごつとめ、私が岡山大学で地域公共交通を研究する立場からコメントを担当しました。西牧社長に、私が西条高校の卒業生だと伝えますと「私の片腕である四之宮和幸代表取締役専務(総合企画本部長)は西条高校出身ですよ」と笑顔で即答頂きました。そして翌日、四之宮和幸専務からメールを頂き、彼が旧東予市三芳出身、河北中学から理数科(昭和58年卒)を経て京都大学工学部へ進学、同大学院で交通土木工学を修めたことを知りました。私からも、旧小松町出身、小松中学から普通科(昭和53年卒)、法政大学経済学部へ進学、博士号(経済学)は京都大学と返信、さらに、西牧社長の講話で欧州の公共交通政策を参考にしたとお聞きしましたので、私がトヨタ自動車の研究所時代に実施した欧州公共交通調査の資料をお送りしました。そして道前会主催で在校生向けに講話の機会を頂ければ、十河先生の偉業を継承して「四国新幹線実現」をテーマに、二人で西条の未来について語り合いたいものだと思し合わせました。

岡山は四国の玄関口です。岡山支部は、四国に輝き呼び込む案内役として、西条高校の伝統を継承して質実剛健を旨として活動を続けて参ります。

松山道前会

松山道前会会長 亀岡マリ子 (65回)

松山道前会設立三十周年

道前会松山支部から 松山道前会へ

松山道前会は、今年設立三十周年を迎えました。詳しい資料は存在しません。令和元年九月に発刊した「松山道前会のあゆみ」の故三浦晃相談役(当時)の原稿により、松山道前会は、道前会本部が昭和二十八年に発刊された「道前会誌」第二号の中に「松山支部」として記録されていたことですから、既にその頃から同窓会組織として活動していたものと推察されます。

その頃から高橋道太郎氏を支部長に長く支部活動を続けられていたようですが、平成五年十月、高橋道太郎氏を顧問に、塩崎一氏を初代会長として新組織「松山道前会」が発会されています。以来今年が三十周年に当たります。支部活動から数えると七十年に亘って続いたことになりました。

新組織になってからは途切れることなく、毎年総会が開かれ、会報誌が発行されております。それは、四季折々に変化する陣屋跡の景色、お濠を渡り大手門を潜った先にある学び舎、その学び舎で学んだ者同士が、伝統ある母校を愛し、西条高校の卒業生であることに誇りを持ち、母校に対する特別な思いを強くする先輩たちが、会員の絆を大切にし今日まで繋いできてくだ

さつたお陰です。

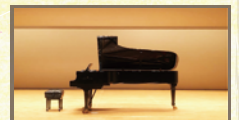
コロナ禍にみまわれたこの三年間、会報誌の発行は続けておりますが、総会を開くことができておりません。会員の中からはそのことを残念がってくださる声や、会員の絆が弱まるのではと心配してくださる声も聞こえています。

政府は、コロナをインフルエンザ同様、第五類感染症と認定しました。道後温泉・松山城等県内観光地等の人の往来も増え、行きかう車のナンバーには県外ナンバーがたくさん見られるようになりました。

感染予防には万全の注意を払いながら今年こそは松山道前会設立三十周年記念の総会を開催したいものだと思います。その際には懐かしいお顔、初めましてとなる若い会員の皆さんとお会いすることを楽しみに今からワクワクしています。



参加者募集!!



大ホールでピアノを弾いてみませんか

《会場》西条市総合文化会館 スタインウェイ D-274 《参加費》 1区分 2時間 5,000円 (税込み)
西条市丹原文化会館 ヤマハ CFⅢ

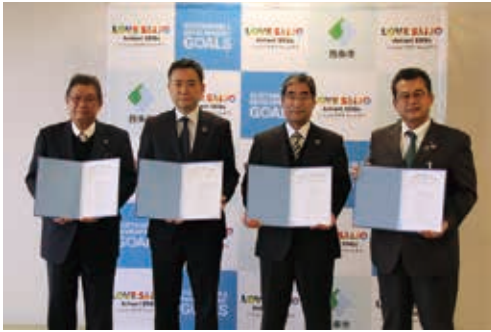
※詳細は西条市総合文化会館・西条市丹原文化会館の公式サイトをご覧ください。

道前会西条市役所支部

幹事長 桑原一豊 (82回)

西条市は、SDGs達成に向けて積極的に取り組む自治体として、令和2年5月にSDGs未来都市に選定されました。地域の持続化に向けた課題解決に真剣に向き合う中で、乗り越えていかなければならない山の大きさに悩まされる日々は続いておりませんが、人口構成の変化による将来的な社会システムの崩壊リスクを避けるため、早々に未来を見据えた対応に着手する必要性に迫られていると受け止めています。

そのためにも、将来のネガティブな面だけをとらえて危機感をあおるのではなく、多くの関係者が一致団結し未来に向けてポジティブなシナリオを描く必要があると考えており、玉井敏久市長を先頭に越智三義会長をはじめ会員一同、「持続可能都市西条2050」の実現に向けまちづく



りに取り組んでいます。

そのためには、公民が連携して事業を推進することが重要であることから、令和4年度に一般社団法人「西条市SDGs推進協議会」を設立し、現在では500団体を超える「西条市SDGsパートナー」などの皆様と協力しています。今後は公共手続きやこれから求められる共助サービスなどを、デジタルも活用しながら誰しもが使いやすい形に作り変えるなど、「SDGs×DX」の相乗効果による新たなサービスを創出することにより「持続可能都市西条2050」の実現に向けてチャレンジしてまいります。

さて、当支部は、母校に最も近い場所に位置し、会員数362名を擁しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度も会員が一堂に会しての総会及び懇親会の開催が叶わず、総会のみ書面により開催しました。例年、総会後に開催する懇親会は、会員相互の絆を深め、母校への思いを新たにするとない機会でありながら、3年連続の中止は誠に残念な限りですが、来年度は盛大に開催できることを願っております。



大手門をくぐる若き後輩たちにエールを送りつつ、今後も微力ながら母校の発展に寄与して参りたいと存じます。

関行男先輩を知っていますか？

神風特攻隊島五軍神 愛媛県特攻隊没者奉賛会 会長 村上俊行 (58回)

大手門を潜って左手にある頭上に鷲が止まった『遙かなる故國を想ひて』と書かれた碑について、本校の卒業生で本校に勤務するある先生に尋ねたところ、「知らない」とのことでした。

この碑は本校第39回卒業生である関行男氏の顕彰碑であり、昭和30年11月に39回卒業生が中心になって建立されたものです。関さんは一人っ子でしたが両親に頼み養女を貰って貰った、無事昭和13年2月江田島海軍兵学校に進学、16年11月卒業。この間に父親逝去、養女を実家へ帰します。19年1月から操縦教官の後、夏に台湾を経てルソン島マバラカット航空基地に



榎本神社にある関行雄慰霊碑

9月末赴任。ここで最初の神風特攻隊が編成され、関さんは神風特別攻撃隊敷島隊(5機5人)の隊長として10月25日5機(関行男隊長23歳他20歳2名19歳2名)で海軍最初の特攻を行い、空母セント・ローを撃沈するなど大きい成果を上げて散華。特攻の先駆けとなった敷島隊員は、軍神として称賛されましたが敗戦とともに庶民の人情も荒び国賊とまで言われました。戦後の落ち着きとともに上記の碑が建てられたのです。

昭和49年5月フィリピン・マバラカットに現地の人たちによって「神風特攻隊全戦没者の碑」が建てられ、除幕式が行われ多くの人々が参列しましたが日本人の参列はありませんでした。その碑には敷島隊員全員の氏名とともに「世界史の記録にない壮挙」などと記されています。このことを日本人として恥ずかしいと考え、それまで頓挫していた関さんの碑を建立することになり、昭和50年3月西条市常心・榎本神社に関さんの碑が完成、除幕式が盛大に開催されました。その後敷島隊員4人も合祀され、神風特攻隊敷島五軍神として、その後愛媛県特攻隊没者も加えられ現在に至っています。

私は本校道前会長を退いたのち、厳しい状況にあったこの奉賛会の会長を求められ務めています。毎年10月25日は全国からの参列を得て追悼式典を実施、他毎月10名を超す人の参拝と特攻記念館見学があります。恒久平和を願いました日本人の歴史に残すものの一つとして、その中心の人物がわが校の卒業生であることを忘れないでほしいと思っています。



Foundry Kurita

強靱鋳鉄製造販売 ISO9001/14001 審査登録工場

株式会社クリタ

793-0046 西条市港1番地1 代表取締役社長 栗田陽一(86回)



HP



Youtube

随 想



愛する西条高校在学時 を振り返つての思い出

久門 亨 (52回)



私は昭和7年の京都で出生し、父の職業の關係で昔の朝鮮(韓国)の京城市に住んで居りました。父は当時日本高周波重工業株式会社の京城支店の厚生課長として、朝鮮の京城市練兵町(日本人ばかりの部落で市場・映画館・病院・市営住宅もあり)に住んで居りましたが、先の大戦で敗戦になり、我々家族も終戦の年に日本に引き揚げとなりました。

思い返せば小学校は、京城で日本人のみの三坂小学校を卒業。当時は、学校には日本の将校1人が在籍しておりました。兵隊さんの服のボタン付けが終日続き、5〜6年生の時は海洋少年団に入り手旗信号を習いました。中学は京城の日本人男子のみの龍山中学校を受験、合格し入学しました。しかし、なにせ戦時中、中学に入っても日本の飛行機に必要と、松の根を掘り出し油を取る仕事で、勉強はほとんどなく、連日松の根掘りばかりでした。学校は、兵隊さんの庁舎となり、通学するのに1時間以上かかる京城中学校の一室を借りました。また豆等の野菜

作りをする様になりましたが、ほどなく終戦。学校は閉鎖になりました。

その年の11月「日本に引き揚げよ」との命が下り、家財は知人の朝鮮人に預け、各人リュックサックを作り、学生服と下着と教科書を入れて龍山駅より馬を乗せる貨物列車に乗りましたが、座るのがやっとでした。ゴザを敷いてありましたが、寝る事も出来ず釜山港迄、一晩中かけて走り、釜山港より日本の興安丸に乗りました。帰国する人で一杯で甲板で横になり寒かった思い出があります。小学校・中学校入学時の写真を持ち帰れず残念でした。

興安丸は山口の仙崎港に着き、近くの運動場で米国兵に消毒の為、DDTをかけられ、祖母が居る四国の西条に向かいました。夜中、下関迄、石炭貨物車。下関より尾道へは、普通列車でしたが、尾道は戦時中の米軍の爆撃で焼け野原でした。尾道を過ぎて四国の今治へ船で行き、普通列車で西条迄。荷車にリュックを乗せ、大町新町の祖母の家を探す事にまた時間がかかり、着いたのは夜中でした。当時は配給制でその量も少なく祖母の納戸からのものを米・麦と代えてもらい食事は大変でした。近くの海岸での貝掘りや、畑のイナゴやタニシ取り、芋のつるや野草も随分食べました。当時イナゴ3匹食べれば卵1個食べた栄養になると聞き、よく食べました。

数日後西条中学に転入手続きをしましたが、51回生では1年のプランクがあり成績は最低。先生、父母が話し合つて52回生に入る事になりました。当時は六・

三・二制で新制中学が発足し、下級生は入りませんでした。担任の國田先生に大変便宜をして頂き助かりました。

入学後は、陸上競技部に入り、星加先生、近藤先生、女性の佐伯先生に体育の指導を受けました。運動部では野球部が盛んで、藤田元司君(後の巨人軍監督)や工藤投手、池西(好)君、西辻(勝)君、村上(範)君等が居り盛んだった。空手では、新居浜から来ていた三迫君や野球では先輩の矢野氏等居られました。

我々陸上競技部にも原乙人氏(51回)、村上(範)、久米(雄)、伊藤(和)、女子では笠松(繁)、真鍋(寿)、商業科の久米(照)、能智(節)、武田(安)等が居りました。

当時南北の朝鮮戦争が起り、日本では警察予備隊が発足(昭和25年)。

本校は、西条中学から西条北高へとなりましたが、私は進学を断念し、在学中の昭和26年18歳の時に警察予備隊の補充に応募。合格し26年10月1日、19歳の時に、香川県の普通寺部隊に入隊しました。予備隊は後に保安隊と呼称が変わり、普通寺から愛媛の三津浜に移動、小野村駐屯地が出来、松山部隊となり、公安委員会付け法令指導員、大型免許指導兼検定員の資格を取り各部隊から来る隊員に一生懸命教育をしました。34歳のある日、普通寺の人事部長より話があり、伊丹行きを決めました。そして、昭和51年6月定年退職迄居りました。階級は3尉に成つてました。

すぐ大阪の証券会社に就職、会計係出納部に配置され、午前中は、京都支店・神戸支店・明石支店等を回り、阪神大地震にも遭遇し大変でした。神戸支店には、大阪から弁当とお茶等を配達し喜ばれ、社長から感謝状を付与されました。

ボーナスも当時はバブルの最盛期で、高額支給されました。現金1億円を運ぶ時もあり、無事になしとげました。平成5年11月、証券会社に居る57歳の時には、国から勲6等瑞宝章受章。夫婦で東京の皇居、豊明殿に行き、天皇陛下にもお会いして章を戴いて帰りました。その後証券会社も東京と合併し東京に異動する事になり、19年勤務後退職。すぐ伊丹市のシルバー人材センターに入り69歳より現在に至る迄色々な仕事をしました。シルバーストップを発足させ、草引き、水やり、犬の散歩、亀の募作り、物置の出し入れ、火災報知機の取り付け、高齢者住宅の見廻りと色々仕事をし、今は、卒寿(90歳)を迎えのんびりと家で過ごしております。

父母を西条より伊丹の我が家に取り取つたのは、25年くらい前で、父は96歳で、母は81歳で亡くなりました。私の結婚は松山の三津浜駐屯地時代で、子供は3人(長女・長男・次女)で、現在孫は8人、曾孫は12人、玄孫は1人居り、各々家を持ち、我が家にもよく遊びに来ます。

西条高校時代は懐かしく、今でも何人かと文通をしています。年齢も高齢になり、友人知人も次々亡くなりました。色々記しましたが、今でも昔の事をなつかしく思い出します。

道前会費と寸志を送りましたので、お使い下さい。当時と違い現在は、普通科以外に国際文理科(理数科と国際科)、商業科等と増え、学生も増え大変と思いますが、今後ますますの母校の発展を陰ながら祈っております。以上70数年前を思い出しました。

7/17 (月・祝)

渡辺美月ピアノ・リサイタル Vol.3

～ショパンピアノ協奏曲を2台で聴く～

時/14:00開演 (13:15開場)

場/西条市総合文化会館 大ホール (西条市神拝甲79-4)

¥/前売り 一般2,000円 高校生以下1,000円

当日 一般2,500円 高校生以下1,500円

新たな挑戦として2台のピアノ(スタインウェイとベーゼンドルファー)で、ショパンの最高傑作である「ピアノ協奏曲第1番」を演奏いたします。是非、皆様お誘い合わせしてお越しいただき、お楽しみくださいませ。



チケット取扱場所
西条市総合文化会館、フジグラン新居浜、フジグラン西条、フジグラン今治、フジグラン松山、明屋書店川之江店、明屋書店MEGA西の土居店、明屋書店西条本店、明屋書店東予店、明屋書店今治本店、明屋書店石井店、明屋書店MEGA平田店
問/ Soirée musicale/ 渡辺 TEL 090-9771-3860

局地風「西条あらせ」を ご存じでしょうか

九州大学名誉教授 真木太一 (62回)

皆様「西条あらせ」を知っていますか。ほとんど知らないかと思えます。実は「あらせ」に西条で吹く局地風なので、私が付けました。

2022年6月に朝倉書店より『図説 日本の風』を編者として出版しました(図1)。本書には風の種類・



図1. 朝倉書店(編者真木)発行『日本の風』

特性に続いて50の局地風を取り上げ、そこに「西条あらせ」があります。以前に西条南中の同級生(神戸の農協関係者)からハウレンソウの品質が良く阪神市場で評価が高いこととあらせが吹くことを聞きました。しかしその因果関係は不明でしたので、原因を気象的に調べた結果、神戸地域に吹く局地風が効果的な作用を果たすことを1987年に解明し、日本農業気象学会誌「農業気象」(43巻、1988)と「風で読む地球環境」(古今書院、2007)に掲載しました。

寒候期、特に冬季に加茂川西方の高峠山の山腹斜面(斜面温暖帯)では放射冷却によって地表面が冷え、その地面に接した空気が冷やされると周辺の空気よりも重くなりますが、そこは斜面ですので、冷やされた空

気はその上の空気と共に斜面に沿って吹き下り、周辺の気流と合流して速くなり、山麓域で多くは風速5m/s程の風、斜面下降風になります。決して強風にはなりません。この風は周辺の空気より気温が高く乾燥しており霜は降りません。従って、露地栽培のハウレンソウには暖かい風となります。ただ、冬季でするので人には寒く冷たく感じますが、野菜には優しい風となり品質の良いハウレンソウができます。その風は加茂川西方の伊曾乃神社から前神寺の山麓域で吹き広がりません。一方、山麓域北方の低平地では霜が降ります。なお石鎚山の中腹方面から高峠を越えて吹くもう少し規模の大きい局地風で強化されることもあります。最近では地球温暖化によって顕著な風は幾分減り、建物も増え栽培が減少しています。



槍ヶ岳をバックに

「日本百高山の完全単独踏破」を文芸社から6月に発行します。

思えば遠くへ

丹 芳男 (68回)
(ペンネーム立歩人)

ここ北海道滝川市、厳冬期には零下二十度超えの日も。「故郷離れて十年、思えば遠くへ来たもんだ」と。しかし住めば都、どの家も完全暖房で室内は薄着、豪雪だつて私にとつては子供の様に心躍る異次元の世界。春秋も大空を次々に飛んでいく白鳥の群れを見あげながら感激!

また所変われば食文化も。当地は食材豊かかつ新鮮な物ばかりなので驚く事も多く、その一つにホッケが。仕事帰りスーパーで見つけた生ホッケ「二匹百円、オッアイ!」と買つてはみたものの、丸々太つていてグリルに入らず無理くり。

ただこれがいけなかったのか、裏返しをしようにも今度は全く。あせつてはくるし時間ばかり...そのうち焦げた匂い「ええい、もう壊れたつて」と...はい、やつと何とか。しかし身はグチャグチャで半分は底...あゝア。

翌日職場でそんな失敗談を話すところ、「エッ?、生ホッケを焼いたんですか?」と。

私?、ですから言いました「ホッケは焼くに決まってるでしょうに」ってドヤ顔で。それに対し「生は煮るかフライにするんですよ」あきれ顔。「エエッ!」今度は私の細い目まん丸に。だつて東京の友人達も同じ、そもそもホッケの開きしか知りませんね。

更に驚いたのが「お赤飯が甘納豆」だつた事。勿論聞きました「何で?」って。ただ皆「それが何か?」逆にいぶかしげ。いえいえ私だつて負けてはいませんよ「だからそれ甘すぎるでしょう」つてちよつと強く。

しかしですね、横から必殺とどめの一撃「甘い甘いとおっしゃいますけど、オハギがあつてアンパンがあつて、何でお赤飯だけがダメなんですか?」

「ムムムツツなるほど。オ、オヌシなかなかやるな」これその時の心の声。そして「オハギもアンパンも大好きだよな、良いよな」同時に浮かんだ言葉。それで私は完全ノックアウトでした。



①大空を次々に白鳥の群れが



②田んぼの其処ここ白鳥や雁



③水面を優雅に

kawanishi 豊かな生活環境を創造
株式会社かわにし

塩出正照 (61回)

〒793-0030 愛媛県西条市大町1681番地
TEL 0897-56-2912 FAX 0897-56-3141

美・心の資産
ガッパ かわにし
代表 塩出 洽 (64回)

画廊/愛媛県西条市大町1639-2 (駅前中通り)
〒793-0030 tel&fax 0897-55-5768
http://www.g-kawanishi.com/

とうしょうはん
西条の守護神 しょう運の神
西条神社

宮司 塩出 崇 (67回)

愛媛県西条市大町1159
TEL 0897-56-8802 FAX 0897-56-8898
携帯 090-5273-1982

益荒男よ

来たれ東予学舎へ!

東予学舎舎監・東京道前会幹事 猪川正徳 (74回)



お世話になつています。74回の猪川正徳です。東予学舎は25回卒業です。2023年1月

から、74回の越智(谷崎)栄二舎監の後を受け、東予学舎の舎監を勤めています。

道前会の会報の紙面を借りまして、東予学舎について説明をさせていただきます。そもそも成り立ちとして、東予学舎は、明治38年(1905年)頃、旧西條中学出身の学生ための寄宿舎として当時、港区広尾にあった旧西條藩の松平公の屋敷の一部を間借りしたことが始まりです。約118年前の話です。

その後、豊島区大塚に新学舎を建設し、第2回卒業の十河信二先生を舎監に仰ぎ大正9年(1920年)に財団法人西条育英会として発足しました。運営管理は育英会が行い、学舎は実際に学生が住む寮に当たります。

戦後昭和28年(1953年)に学生の募集を東予一円に拡大し、財団法人東予育英会が世田谷区下

東予学舎 寮生募集 2021年3月リフォーム実施 充実の生活設備 新宿・渋谷まで約30分の好立地

馬に発足。木造の寮舎を経て、昭和44年(1969年)下馬に鉄筋五階建ての寮舎を建設。

昭和59年(1984年)都下、調布市に移転し鉄筋四階建ての寮舎を建設。

平成24年(2012年)財団法人から公益財団法人へ移管が完了。現在に至っています。

さて、喫緊の課題としては学生の応募が激減したことが挙げられます。理由としては、

(1) 出生数の減少。2022年は史上最少の80万人弱になる。

(2) 首都圏の大学に進学する学生の割合が1970年代を10とすれば6になった。近畿、中国、四国の大学に進学する学生の割合が増えた。

(3) 大手不動産業者及び大学自体が学生寮の経営に乗り出した。

(4) 学生が団体生活を厭う傾向がある。

以上があります。私共としても、全員個室化を図り、机、椅子、ベッド、ロッカー、エアコン、インターネット配線を標準にし、月曜日〜土曜日の朝夕は食

事付です。(祝日、日曜日は除く) 風呂、トイレは共同。新宿、渋谷迄電車で約30分。寮費は2023年4月現在全て込みで月65,000円です。調布市周辺ですと、食事なしのワンルームマンションでも70,000円を切る物件はなかなか無いと思います。

また、団体生活も、社会人になる前段階として必要最小限の物と考えられています。

皆様方におかれましても、入寮に相応しい男子の大学生・短大生・専門学校生、専修学校生がいらっしやいましたら、ご推薦の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】 ※遠慮なくご連絡願います。郵便番号 182-0025 調布市多摩川1-24-1 京王線 西調布より徒歩7分 (見学歓迎) 電話 042-488-6261 Fax 042-488-5181

Sマホ、パソコンで「東予学舎」と検索すると紹介文、写真、動画等が出て来ます。

来たれ! 青雲の志を持つ益荒男よ! これぞ東予健児の面目ぞ!

猪木会長への感謝

甘井素之 (86回)

初めまして。私は甘井もとゆきと申します。昨年十月一日に亡くなられたアントニオ猪木さんのマナージャーを二〇一七年六月から

二〇二二年七月までの五年間務めておりました。猪木会長(普段、私は猪木さんを「猪木会長」と呼ばせて頂いておりましたので、それに倣います)と親しくなつてからは二十年の時間が経ちました。西条

高校や愛媛県は格闘技に縁が深く、皆鬼籍に入りましたが、私の父親は西条高校のバレー部で主将を務めており、同級生には後の読売巨人軍の監督となった藤田元司さんがおり、日本プロボクシング協会会長であった三迫仁志さんが居ました。三迫会長の新居浜からはプロレスラーの木村健悟さんが、

宇和島からはK-1の創設者である石井和義館長が、また西条で私の四つ上には空手家の村上竜司さんが居られます。皆、後輩である私を可愛がってください、嬉しい限りです。

猪木会長と知り合い、お仕事等で少しずつ関係が深まると、私の同級生でテノール歌手の秋川雅史

くんを猪木会長に紹介致しました。当時、秋川くんは「千の風になつて」を歌う前でしたので、色々苦勞されており、猪木会長は秋川くんを応援する私を見て「純粹に人を応援する心は尊いよ。その気持ちや大事にするんだよ」と声を掛けてくださり、その後、秋川くんを毎年猪木会長のお誕生日パーティーに呼んで頂き、多くの業界関係者の前で歌を披露する機会を頂きました。「千の風になつて」の大ヒットで秋川くんが有名になり、猪木会長が松山で講演会を行う際に「秋川くんをゲストで呼びたいな」と猪木会長自身も希望していたのですが、秋川くんが忙しくなり過ぎ、代わりにお父様の秋川暢宏さんが講演会に來られて「千の風になつて」を歌ってくださいたのも良い思い出です。猪木会長も「千の風になつて」が大好きで、カラオケで歌われる事も多かったです。

猪木会長は政治の世界でも活躍されて居ましたので、洋行にお供する際には現地要人との会談に加わる機会もありました。写真はカンボジアにて猪木会長と二緒に現地の観光大臣と会談を行った際の物です。私にとっては、とても良い経験となりました。猪木会長の側に居た事で、到底普通では出来ない素晴らしい経験を沢山させて頂きました。今は心から「ありがとうございました」の気持ちしかありません。猪木会長、千の風になつて、この日本を、格闘技業界を見守り続けてください。



猪木会長は政治の世界でも活躍されて居ましたので、洋行にお供する際には現地要人との会談に加わる機会もありました。写真はカンボジアにて猪木会長と二緒に現地の観光大臣と会談を行った際の物です。私にとっては、とても良い経験となりました。猪木会長の側に居た事で、到底普通では出来ない素晴らしい経験を沢山させて頂きました。今は心から「ありがとうございました」の気持ちしかありません。猪木会長、千の風になつて、この日本を、格闘技業界を見守り続けてください。

踊子

松本あゆみ (110回)

古代エジプト発祥の世界最古の踊りと言われているベリーダンス。紀元前5世紀のものと言われる古代エジプトの壁画には、ベリーダンスを踊る女性の踊り子達を描かれていたものもある。私はベリーダンスを習い始めて今年で9年目になる。都内のベリーダンススタジオに所属してから3年間は、ひたすら練習の日々だった。ちょうど3年経った頃、師匠からシヨ一のオフアアがきた。都内のアラビア料理店でのレストランシヨ一。当日、店へ到着するとレバノン人の店主が温かく迎え入れてくれた。店内はアラブ地方の国のレストランに来たような内装で、20世紀のエジプトの有名歌手ウナム・クルスームの歌が流れていた。楽屋へ案内されて、メイクをして衣装に着替えて、シヨ一が始まるのを静かに待っていた。店主がそろそろ始めると伝えにきて



すぐ、アラブ特有のリズムとアラブ地方の楽器で奏でられる音楽が流れた。レストランのフロアへ出ていくと、それまで食事を楽しんでいたお客様の視線が一気に集まった。一番緊張した瞬間だった。踊り始めると最初は静かだった客席から徐々に手拍子が聞こえ始めた。客席も一緒にこの空間を楽しんでいるような気がした。キッチンからこちらを見ていた店主も曲に合わせて「ヤッター！」と声を上げていた。ヤッターとはアラビア語でステージが盛り上がっているときに使う掛け声みたいなもの。約30分間のシヨ一タイム。あっという間に終わったと感じるくらい夢中で踊っていた。この日感じた高揚感や非日常的な空間、そのすべてを今も鮮明に覚えている。数年経った今も、シヨ一の前になると時々この日を思い出す。



「ビール天国」

ポートランドよじ 山根大樹 (112回)



この文章を書いている2023年3月10日現在、私はアメリカ、オレゴン州ポートランドでビール醸造のレベルアップのため修行をしています。ポートランドは「ビール天国」と呼ばれるほど醸造所やパブがひしめき合う街です。それほど大きな街ではありませんが、市内には70以上ものビール醸造所があり、「世界のベストビール都市」にも選ばれています。かなりの醸造所件数ですが、それぞれが敵対することはなく、おいしいビールのために醸造所間の情報交換やコラボレーションが盛んに行われており、共存文化を感じる街です。醸造職人たちも、フレンドリーではありますが真剣に切磋琢磨する様子が伺えます。情熱的で個人的な醸造所が、おいしいビールを毎日たくさん作り出している。そして、そのビールを片手に食事や会話を楽しむ多くの人々。まさに「ビール天国」と呼べる街です。この記事を読まれているみなさん

んはクラフトビールをご存じでしょうか？クラフトビールの定義は諸説ありますが、一般的には「小規模な醸造所がつくる多様で個人的なビール」と言われています。私たちがよく目にするビールといえば、大手各社が販売する金色で透明度の高い液体を思い浮かべるかと思えます。しかし、ビールとはその種類の飲み物を意味しているわけではありません。本来、100種類以上ものスタイルが存在するバラエティに富んだお酒で、アルコール度数から味わいまでも幅広くスタイルが存在しています。ここ、ポートランドでも飲食店に行くと、カラフルで香りや味わいが様々なビールを選ぶ楽しみがあります。いつものお気に入りの一杯をグイッと飲むもよし、友人とビールの好みについてワイワイ話しながら飲むもよし、カウンターで少しマニアックな醸造秘話を聞きながらチビチビ飲むのもよし、食事にあうビールを選ぶもよし。ビールは自由で、時間を豊かにしてくれる飲み物なのです。

私がビール醸造をする上で常に意識することは「飲みやすさ」です。少し専門的になりますが、それには2つのポイントが重要であると私は考えています。1つ目は、嫌な味が一切ないこと。2つ目は、水のようにスムーズに飲めること。その上で、ホップの華やかな香りやフレッシュな苦味、モルト由来の甘みなど、味わいに個性をつけていくイメージです。ここ、ポートランドで

出会うビールはどれもレベルが高く、まさにそれが綺麗に表現されたものばかり。何杯でも飲めてしまつたため少し危険ではありますが…。とにかく、そんなビールを醸造するためのヒントを得ようと毎日醸造所を訪れています。そして、現状気づいたことは幾つかありますが、中でも、仕込み水の水质としっかりと向き合うこと、おいしいビールを基点としたコミュニケーションをお客さんと共にデザインすること。この2つは欠かせないと感じています。

長くなりましたが、ここまで書いた理由は他にもありません。この学びを活かし、西条でおいしいビールを醸し、みなさんに楽しんで欲しいからです。現在、西条駅近くに醸造所を建設中で近くオープンを予定しております。GROUND TAP BREWERYという名のブランドですが、この「GROUND TAP」は、みなさんご存じ「うちぬき」を意味しており、弘法大師が地面を叩いて湧き出たとされる伝説をもとにしています。その名の通り「うちぬき」を仕込み水としてビールを醸します。おいしいビールが完成した暁には、ぜひこの記事のことを少し思い出しながら飲むなど、それもまたクラフトビールの1つの楽しみかもしれません。みなさんの時間を豊かにするビールを醸すべく、ポートランドでの学びはまだ続きます。そう遠くないいつか、西条で、おいしいビールで乾杯しましょう。

本部及び 各支部役員

一、本部 事務局

道前会本部 事務局
〒793-8509
西条市明屋敷234 西条高校内道前会館
振替口座0168004-8745
☎0897-153-2192
FAX0897-153-2192

会長 真鍋和年
副会長 安永(中野)道子
理事 曾我部幸雄
近藤勝志
武智(十亀)晴志
西原俊基
森美(藤原)真智子
遊口親之
伊藤孝司
高石曾我部ユウ子
小山政雄
高橋(森)千春
徳永博久
徳池篤志
菊池日野美恵子
一柳武志
伊藤(皆見)博美
岡田典良
山内博武
越智将哲
越智文史
森川厚
河野(高橋)和子
鳥谷浩
一色(星加)朝美
伊藤良二
村上(村上)直子
秦(安藤)千草子
大坂和子
桑原(山田)恵子
寺川友朗
藤田道則
伊藤(松本)有香
佐々木充
宮崎健
青木孝之
阿蘇(伊藤)道子

校内理事
会計監査

(57)(86)(83)(110)(90)(84)(84)(83)(83)(80)(80)(78)(77)(76)(76)(75)(74)(73)(72)(71)(71)(70)(69)(69)(67)(67)(67)(66)(66)(64)(64)(62)(60)(58)(56)(56)(87)(70)(66)(66)

二、支部

會計監査 秦徳川和夫 (63)
事務局 寺川竜敏 (101)
東京道前会 105-0001
東京都港区虎ノ門3-22-10
東武ハイライン芝虎ノ門104
☎03-5733-2331
FAX03-5733-8651

伊藤雅史 (67)
山本正博 (74)
寺田(鈴木)紀彦 (70)
福田(林)由美 (74)
曾我夏洋人 (81)
今井哲志 (70)
得永正也 (84)
青我部誠 (102)
和野卓誠 (86)
秋田重也 (87)
村十嘉男 (96)

東海道前会 岐阜県大垣市静里町9-11-1 (森山)
☎0584-916473
名誉会長 山路正雄 (60)
会長 森山桂一 (67)
副会長 山内重徳 (62)
幹事 矢葺(藤原)範子 (58)
妻茸延美 (71)
伊藤達夫 (58)
長野達夫 (58)

近畿道前会 大阪府吹田市新芦屋上17番地J-408号
☎090-123387-9330
事務局 岩崎 秀雄
顧問 工藤 治夫 (58)
副会長 三浦 東八 (61)
岩崎 秀雄 (65)
小西谷(矢野)ヒロミ (67)
藤本(高橋)早苗 (68)
本田(高橋)早苗 (75)
岩崎 秀雄 (87)
濱崎 秀雄 (85)
越智 研二 (65)

幹事 岩崎 秀雄 (85)
副会長 三浦 東八 (61)
小西谷(矢野)ヒロミ (67)
藤本(高橋)早苗 (68)
本田(高橋)早苗 (75)
岩崎 秀雄 (87)
濱崎 秀雄 (85)
越智 研二 (65)

岡山道前会 岡山市北区清樺橋4-4-32-410
☎086-222-1640
事務局 工藤 隆
顧問 三浦 賢介 (67)
会長 佐藤 恭隆 (71)
幹事 高井 清 (52)
河原 刻也 (53)
矢原 登也 (58)
土居(大館)玲子 (59)
三田 玲子 (78)
門田 強 (53)

広島道前会 広島市中区舟入南3-5-11-1
☎090-1335-9280
事務局 大下美恵子
相談役 佐竹 優 (49)
一色 敬 (53)
白石 美恵子 (55)
氏家(藤原)美恵子 (56)
伊藤 光秋 (69)
大河内 真 (68)
幹事 大下 真 (57)
幹事 白石 淑 (88)
監査 松本 義 (53)

松山道前会 伊予郡松前町恵久美596-2
☎089-985-0361
相談役 安藤 敏朗方
副会長 藤本 諫男 (58)
会長 亀岡(高橋)マリ子 (65)
磯田(曾我部)淳子 (69)
徳永 修三 (73)
宮崎 真一 (68)
高塚 真志 (76)
渡部(横井)英子 (76)
安藤 敏朗 (68)
山本 敏郎 (77)

今治道前会 連絡先..本部道前会
☎0897-153-2192
副会長 不在
会長 村上(寺川)小夜子 (63)
河野 孝司 (78)
戸田 廣行 (81)

幹事 村上(寺川)小夜子 (63)
副会長 不在
会長 河野 孝司 (78)
戸田 廣行 (81)

西条市役所道前会 西条市明屋敷164
☎0897-156-1515 (代)
FAX0897-152-1200
幹事 新居 孝幸 (85)
中須 裕二 (88)
安藤 志朗 (78)

定時製造前会 西条市明屋敷234 西条高校内
☎0897-156-2030 (光編29)
副会長 真木 輝雄 (74定)
会長 山崎 雄 (55定)

幹事 安藤 志朗 (78)
中須 裕二 (88)
新居 孝幸 (85)

母校に立つ 同窓教職員

109回	石村悠紀子	教諭・国語
107回	村上圭次郎	教諭・数学・情報
106回	萬條 彩	支援員・業務
101回	山田 英里子	教諭・英語
99回	今井 祐樹	教諭・英語
99回	近藤 洋正	教諭・英語
93回	宮崎 誠久	教諭・商業
91回	國崎 直毅	教諭・商業
90回	三田 直毅	教諭・商業
90回	田代 知典	教諭・理科
87回	渡辺 洋子	教諭・理科
86回	青木 孝之	教諭・商業
83回	宮崎 健史	教諭・数学
82回	森 昌三	教諭・数学
80回	日和佐 敬	事務長
79回	川口 弘	再任用・理科
76回	佐伯 晃	再任用・理科
72回	村上 勇	講師・英語
72回	村上 勇	講師・英語

西条金融協会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行
 広島銀行 香川銀行 四国労働金庫

寄附金 (太字は高額寄附者)

伊藤綾男	52回	真木(戸田)町子	58回	亀岡(高橋)マリ子	65回
栗田肇	58回	笹沼(田中)美千代	58回	片上学	66回
一色敬義	53回	松本慶三	59回	高橋敏明	77回
鈴木(近藤)小百合	83回	塩崎隆美	63回	福田(田村)亜弓	90回
久門亨	52回	寺川和夫	65回	伊藤栄吉	91回
片上学	66回	渡辺一郎	65回	寺尾知明	117回

寄贈図書目録

ソーシャル・リサーチ 第47号・それぞれの新渡戸稲造	遊口親之	62回
活動報告書 岡山大学地域総合研究センター	三村聡	78回
東予育英会70年史	猪川正徳	74回
図説 日本の風 人々の暮らしと関わる50の風	真木太一	62回
わたしの心のレンズ 現場の記憶を紡ぐ	一柳武志	69回
村上海賊の娘 下巻	西原俊基	58回
記録と写真で見る「野球王国」 愛媛の野球100年史	岡部正彦	65回
西條史談 第113号・114号	西条史談	58回
文豪たちが書いた 笑う 名作短編集	笹沼美千代	58回
四国遍路と世界の巡礼 上【胡光(84回) 他著】	松本慶三	59回
続・市之川鉱山物語	永井紀之 先生	西条高校
明治後期における地域の中等学校の整備について(1)(2) -新居郡立農学校、新居郡立高等女学校の設置事情- (ソーシャル・リサーチ第45号・46号に掲載)	〃	〃
明治前中期における西条の中等教育事情 -西条中学校への道程-(西條史談114号に掲載)	〃	〃

寄贈物

秋山拓巳選手カレンダー	松本慶三	59回
秋山拓巳選手色紙とサインボール	久門三任太	62回
記念切手	高橋千春	66回

こちらは3行で2冊分のため、「〃」の記号は1つ省略しております。

第10回

「道前塾」

道前会には、各界で活躍している素晴らしい先輩方が数多くおられます。

その先輩方の特別のご配慮により、講演や座談会を通して先輩と交流することができる「道前塾」が平成29年にスタートしました。ここでは生徒たちに、勉学や進学・大学や研究について深く考えるいい機会を与えていただいています。

コロナの影響でしばらくお休みしていましたが、ようやく3年ぶりに開講できました。



高橋 敏明 (77回)
愛媛大学社会共創学部教授

生涯にわたって健康を維持・増進するには、スポーツなど体を動かすことが非常に重要です。

そのために、スポーツなどによる運動器(整形外科分野)の障害やその予防、リハビリテーションについての基本的な知識を学びます。

また、地域住民の方が安心して暮らしていけるように、地域保健やスポーツ支援について学び、地域の課題に対し、さまざまなサポートができるように現場での取り組みや実践について学びましょう。

道前会会費納入のお願い

皆さん、道前会報の発行部数をご存じでしょうか。毎年会員の皆様にお届けしている会報の部数は、約22,000部です。

次に気になるのは、会費の納入者数。さて何人だと思われますか。注目の会費納入者数、昨年度は約1,600名でした。この数字を如何に捉えたらよろしいでしょうか。

また、この会報に道前会の決算書が掲載されています。ご覧になって、どのように思われたでしょうか。

この1年間をかけて、理事会にてこの数字に隠された意味を探ってみたいと思っています。

その先に多分、道前会の将来像が少し見えてくるのではないかと考えております。

さて、いろいろ考えるその前に、取り敢えず会費の納入をすることにいたしましょう。

皆さん、今年度は会費納入者減少に歯止めをかけていただきますよう、心からお願いいたします。

年会費等検討委員会

50年目の卒業式について

道前会では、卒業されて50年目に母校の卒業式にご出席いただき、晴れやかに巣立ちゆく後輩達の門出を祝していただきたくご案内しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第71回生、第72回生、第73回生の皆様にはご案内をすることができませんでした。

出席を楽しみにされていた方も多くいらっしゃったと思いますと残念でなりません。

令和5年度の【第124回卒業式】は、令和6年3月1日に予定されておりますが、第74回生の皆様にはご案内できるかどうか現在のところ判断できておりません。

今後の状況等を見ながらの判断になると思いますのでご了承下さい。

状況がわかり次第ご案内させていただきます。

